

2025年4月2日

各位

フィンテック グローバル株式会社
代表取締役社長 玉井 信光
(コード番号：8789 東証スタンダード)

メッツァ太陽光発電所への蓄電池導入に関するお知らせ

フィンテック グローバル株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長 玉井信光、以下「FGI」）は、2024年7月から子会社の特別目的会社がメッツァ駐車場に設置したソーラーカーポートによって発電した電力をムーミンバレーパークへ供給していますが、発電した余剰電力を有効活用するため、蓄電池を導入しましたことをお知らせいたします。

既設のソーラーカーポートとあわせてムーミンバレーパークにおける電力自給率 35%を目標として運用することにより、年間約 300t(ガソリン車の CO2 排出量に換算すると約 300 世帯分)の CO2 削減を期待できます。また、埼玉西部消防組合と災害協定締結を踏まえ、独自での地域防災レジリエンスとして照明設備稼働、EV への電源供給 (V2H)、水道及びトイレ設備の稼働を災害時及び停電時に自立して供給するシステムを自社設計により導入しました。当該設備の運用の概要は、別紙をご参照ください。

当該設備は設備モデルとして FGI のグループ会社である株式会社パブリック電力を通じて様々な地域に展開してまいります。

メッツァ太陽光発電所及び設置した蓄電池の概要

事業者名	メッツァソーラー合同会社 (FGI 100%子会社)
太陽光発電 設備容量	DC744.625kW, AC700kW(太陽光 650kW+蓄電池出力 50kW)
蓄電池方式	リチウムイオン電池
蓄電量	159kWh
蓄電池稼働開始	2025年2月
V2H (Vehicle to Home)	充電部出力電力 6 kW

以上

【本プレスリリースに関するお問合せ先】

フィンテック グローバル(株) 事業統括部

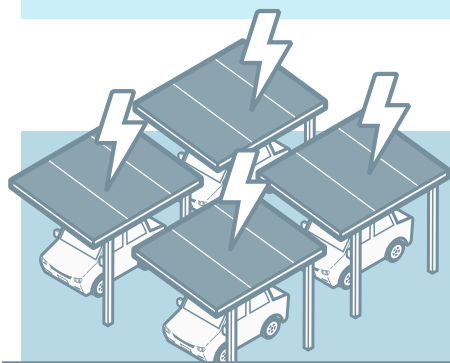
ウェブサイト： <https://www.fgi.co.jp/> の「お問い合わせ」フォーム

電話： 03-6456-4600

メッツァに設置した太陽光発電所と蓄電池の働き

通常時

年間約 300t の CO2 削減想定



ソーラーカーポート太陽光発電所



蓄電池

余剰電力を蓄電

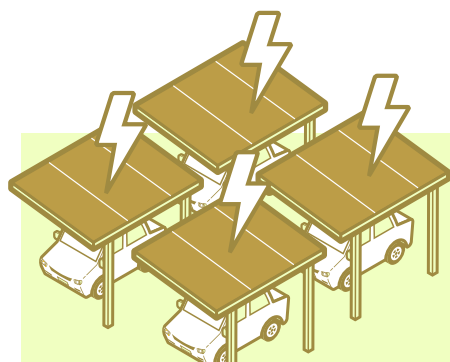
ソーラーカーポートで
発電した電力を
ムーミンバレーパークへ供給



**MOOMIN
VALLEY
-PARK-**
©Moomin Characters™

災害時

停電時に自立して電気を供給する独自システムを設計・構築



ソーラーカーポート太陽光発電所



蓄電池

防災拠点としての機能維持



照明設備・水道
トイレ・浄化設備



V2H※

EV（電気自動車）への電力供給

EV が走る蓄電池として
必要な場所へ電気を運ぶ



病院へ



消防署へ

※V2H (Vehicle to Home) は、EV への充電も EV からの電力供給も双方向で電力を活用できるようにする技術